

# 平均寿命アップに向けた施策は



大城 勝 議員

答 町民の健康づくりに取り組む

**問** 沖縄県保健医療部より、2015年の県内市町村の平均寿命が発表された。本町は男性1位、女性7位にある。本町の2010年、2015年における平均寿命はどうか。

**副町長** 本町の2010年の平均寿命は、男性が81・9歳、女性が87・4歳、2015年の平均寿命は、男性が81・3歳、女性が88歳である。

**問** 本町の平均寿命の向上にどんな施策がとれるか。

**副町長** 健康寿命の延伸、65歳未満の死亡減少に向けて町民の健康づくりに取り組む。

**問** 本町には、一般介護予防事業があるがこの事業の目的は何か。

**副町長** 高齢者の心身機能を維持するとともに、日常生活の活動を高め、社会生活への参加を促し生活の質を高めていくことである。

**問** 事業の利用対象者数は何人と算定しているのか。そして利用者数は何人か。

**副町長** 65歳以上の在宅高齢者が対象で、約4200人と算定。利用者数は288人である。

**問** 事業に対する利用者の反応はどうか。

**副町長** 利用者からは、「体調がよくなり、運動することによって自信がついた」などの声がある。

**問** 事業を推し進めていく中で課題は何か。

**副町長** この事業の各教室の終了後も各自が運動を継続していくことが挙げられる。

**問** 町行政には、利用者の終了後も運動維持を後押しするような施策を考えると考えるかどうか。

**保健福祉課長** 教室終了後、一人では運動を継続できない方

こんな質問もしました  
○しまくとぅばの普及について  
○広報はえばるや社協だよりなどの音声データを活用せよ

### 総合事業の利用手続き

- 1 役場窓口で聞き取り。  
※日常生活の困りごと、介護が必要と見えているサービス利用の目的を聞き取りします。  
※「サービス利用申込書」を使用し、身体や心の状態を聞き取りします。  
※サービス利用の必要と認められる場合、介護保険認定の手続きも必要となります。  
※必要に応じて「医療費助成」または「障害福祉サービス」を申請する必要があります。
- 2 かかりつけの病院へ行く。  
※「医療費助成」または「障害福祉サービス」の申請書に記入し、提出してください。  
※「医療費助成」または「障害福祉サービス」の申請書に記入し、提出してください。
- 3 「医療費助成」または「障害福祉サービス」を役場に提出する。  
※「医療費助成」または「障害福祉サービス」は、どちらかの方法で申請してください。  
※「サービス利用申込書」または「介護保険認定書」を提出してください。  
※申請書に記入した内容に基づき、必要に応じて「医療費助成」または「障害福祉サービス」の申請を行います。
- 4 利用するサービスや目標などを決めて、サービスを利用する。  
※申請を取り付けた後、必要に応じて、身体や心の状態や生活に合ったサービスを利用してください。  
※サービスを利用する際は、必要に応じて「医療費助成」または「障害福祉サービス」の申請を行います。

お問い合わせ先  
介護保険や総合事業に関するご相談・お問い合わせ  
◎保健福祉課 高齢者福祉班 098-889-4416  
◎南風原町 保健福祉課 098-889-3534

### 南風原町 介護予防・日常生活支援総合事業

住み慣れた地域で 元気で自分らしい暮らしを続けるために

この事業は、65歳以上のすべての人が利用できる介護予防のための事業です。介護保険の認定を受けなくても、一人ひとりの状態に合わせたサービスを提供します。

また、介護保険で「要介護1・2」と認定された人は、これまで介護保険で利用していた介護サービスと併せて、介護予防・日常生活支援サービス（要介護1・2）も利用できます。介護予防・日常生活支援サービスは、介護保険で「要介護1・2」と認定された人だけでなく、介護保険で「要健康1・2」と認定された人も利用できます。

南風原町 保健福祉課 平成30年度発行

役場保健福祉課にてパンフレット配布しています